



新たな学び

里 舘 幹 彦

令和5年度が始まり、約2ヶ月が過ぎました。第3学年は修学旅行、第2学年は宿泊学習が終了し、第1学年は見学旅行を控えています。また、沼田学園運動会も実施されました。学校では、1年間で多くの学校行事が行われます。

学校行事の目標は、「学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」ことです。

また、学校行事の旅行・集団宿泊的行事である「修学旅行」、「宿泊学習」、「見学旅行」のねらいは、「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと」です。

私は、「修学旅行」と「宿泊学習」を引率しましたが、第3学年と第2学年の生徒の姿には、学校では、学ぶことのできない新たな学びがあり、これらの目標やねらいを達成することができたと信じています。



6月の行事予定

1 (木) 家庭学習強化週間～14日
 5 (月) 職員会議
 8 (木) 避難訓練・SC (午前)
 12 (月) 協議会研修・
 テスト前部活動中止～15日

15 (木) 期末テスト (1日目)
 16 (金) 期末テスト (2日目)
 18 (日) 沼田町バスツアー
 (中学生対象)
 19 (月) 校内研修
 21 (水) 一斉委員会

22 (木) 3年生薬物乱用防止教室
 23 (金) 1年生見学旅行
 27 (火) 中体連壮行会・SC (午後)
 28 (水) 北空知中体連大会～29日
 30 (木) 北空知中体連 (予備日)

☆3年生修学旅行☆

4月26日(水)から函館・道南方面をめぐる2泊3日。体験的な活動を通して、課題解決する能力を身に付ける等のねらいをもって、事前の取組から、当日に臨みました。日常生活とは違う環境で、仲間と協力して充実した学習活動となりました。

《主な行程》

- 1日目 登別マリンパーク、有珠山、洞爺湖(宿泊)
- 2日目 五稜郭公園、函館市内自主研修(宿泊)
- 3日目 大沼公園、ウポポイ民族共生象徴空間



☆2年生宿泊学習☆

5月11日(木)札幌市で宿泊学習を行いました。1日目は、札幌市内自主研修を行いました。テレビ塔から出発し、オリンピックミュージアム、藻岩山等を事前に立てた計画に沿って、市内を巡りました。2日目は、エスコンフィールドをツアー見学し、午後はキャリア教育の一環として、北翔大学で体験授業を受講しました(美術・体育)。



☆前期生徒大会(5/9)☆

3年生を中心とした、前期生徒会活動がスタートしました。自分たちの学校生活をよりよくするための意見や質問が各学級の審議を経て、話し合われました。生徒の手による自主的な活動を期待します。



☆クリーン沼田・

グラウンド美化一斉運動に参加☆

5月14日(日)、クリーン沼田活動があり、町内のごみ拾いを行いました。その後、沼田町学校運営協議会の事業により、小中学校グラウンド草取り作業が行われました。生徒や地域の多くの方々に参加していただきました。御協力ありがとうございました。



☆自転車通学時のヘルメット着用に御協力ください☆

今年度4月からの、「自転車利用時のヘルメット着用」の努力義務化に伴い、本校でも通学時の生徒へのヘルメットの着用をお願いしているところです。お子さまを含めた、大切な方の命を守るためにも、早めの御準備をよろしくお願いいたします。



☆学園運動会☆

5月27日(土)、今年度も小中学生が3つのグループに分かれての開催となりました。各グループは、3回の合同練習を経て「俺たちは最強!本気(マジ)駆け抜けろ!」をテーマに、一生懸命、競技に取り組みました。



(中1)「騎馬戦」

運動会のねらいには、「小学生は、中学生の強さに触れ、親しみや憧れの気持ちをもつ、中学生は、年少者へのいたわりの気持ちもち、自己有用感を育む」ということが含まれています。沼田小中一貫連携教育を支える取組となっています。



(中2)「台風の目」

保護者の皆様、温かい応援と御協力ありがとうございました。



(中3)「ポーズを決めろ!」



(中3) お揃いのクラスTシャツで

☆令和5年度 全国学力・学習状況調査☆

4月18日(火)全国一斉に文科省「全国学力・学習状況調査」が行われました。本校においても教科に関する調査(国語、数学、英語)を3年生対象に実施しました(英語「話すこと」と生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査は5月9日)。この調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ことを目的としています。学校では、この調査結果をもとに、学力向上に向けて、効果的な取組の実践を目指します。